



ネイチャーセンターだより

2024年5・6月号

新・いきもの図鑑



▲2023年6月16日 北方原生花園で撮影したもの

【参考文献】

環境庁. 1979. 第2回自然環境保全基礎調査 動物分布 調査報告(鳥類)全国版.
環境庁.
藤巻裕蔵. 2011. 北海道におけるマキノセンニュウの分布と出現率の変化.
日本鳥学会誌. 60: 233-237.

マキノセンニュウ (牧野仙入)

夏鳥として草原に飛来する準絶滅危惧種の鳥。草原の中でも、河川の中・下流域や海岸近くにある湖沼周辺の草原と限られた場所に生息しています。センニュウ科の鳥では、エゾセンニュウに次いで鳴き声は聞こえるものの姿を見るのが難しい種類です。チリチリチリ…という虫に似た声で鳴き、耳にしている鳥の声とは気がつかない方も多いと思います。春国岱では6月にキタキツネコースやアカエゾマツコースでさえずりが聞かれることが多いです。

1974～1978年に行われた鳥類の生息状況調査(環境庁1979)では、北海道内でも特に根室地方に記録が多かったとされています。その後の1976～2010年の藤巻(2011)による北海道全域での調査、および各種論文や報告書によると、道内の主な分布域に変化はないものの、全く見られなくなった場所があるなど、要因はわかっていないものの分布域が縮小している傾向があるようです。

自然学習林でニホンイタチが観察されました

NEWS

3月9日と16日に、自然学習林でニホンイタチが観察されました。いずれも来館したお客様からの情報で、レンジャーが写真を見て確認しました。自然学習林におけるこれまでのイタチの観察記録を調べると、2015年12月、2017年11月、2018年2月の3回のみ。過去の目撃も今回の目撃も、いずれも沢に近い場所で確認されています。カエルやネズミ、鳥類などを食べる他、甲殻類、小魚など水中の生きものも食べるため、沢沿いの生きものを狙っている可能性があります。



写真) 2024年3月9日 来館した根室市民が撮影

ニホンイタチは日本固有種で本州以南に広く分布しています。北海道にはもともと分布していませんでしたが、1880年代に侵入し、その後1933～78年には野鼠駆除のために道内各地に導入され、定着した国内外来種です。

【参考文献】

阿部他. 2008. 日本の哺乳類改訂2版. 東海大学出版.
村上他. 2020. 北海道の哺乳類. 知床博物館協力会.

見どころMAP



- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

5・6月の見どころ予報

- 凡例
- ◎ ぜったい見られる (と思う)
 - ちょっと気をつければ見られる
 - + よく気をつければ見られる
 - ・ めったに見られない

オジロワシ	+	少数が風蓮湖周辺に残り、子育てをしています。上空を飛ぶ姿をよく見るほか、干潮時、風蓮湖や根室湾の干潟に降りて、魚や水鳥などを狙っている姿が見られます。
タンチョウ	○	春国岱周辺の湿地や干潟などで採食している様子や、休む様子が見られます。5月は抱卵・ふ化の時期でとても神経質になっているため、首を伸ばして人の方を見ているなど、落ち着かない様子のタンチョウがいたら近づかずすぐに離れてください。
オオジシギ	○	ネイチャーセンター駐車場付近や自然学習林周辺の草原、春国岱アカエゾマツコース周辺で、オスがメスに求愛するため「ズビャク、ズビャク」と鳴きながら飛び、「ゴゴゴ」と尾羽で音を出しながら急降下する姿が見られます。
ミヤコドリ	+	干潮時間帯前後に干潟にいるのを観察できますが、例年、5月上旬には数が減ってきます。5月下旬には数羽になると思われます。
春国岱	野鳥 (森)	森からルリビタキやミソサザイ、カッコウの声がよく聞こえるようになります。運が良いとクマゲラの鳴き声やドラミングが聞こえるかもしれません。
	野鳥 (草原)	海岸の草原ではヒバリやハクセキレイのさえずりがよく聞かれます。風蓮湖の周りでは、ノビタキやオオジュリンが見られます。湿原では6月になると、マキノセンニュウやシマセンニュウなどのさえずりが聞かれるようになります。運が良いと林縁部でノゴマを見ることがあります。
	花	5月中旬にはエゾノコウボウムギ、ハマハタザオなどが見られます。6月は、アカエゾマツコースでイワツツジ、マイヅルソウ、海岸草原でセンダイハギ、オオヤマフスマ、エゾノシシウド、ハマナス、塩性湿地でウミミドリなどが花を咲かせます。
自然 学習林	野鳥	夏鳥が続々と渡ってきます。5月上・中旬にはセンダイムシクイやエゾムシクイ、コムクドリなどが渡来します。6月上旬にはアオバト、コサメビタキなどが渡来し、エゾセンニュウのさえずりがよく聞かれるようになります。
	花	ミズバショウは5月上旬には咲き終わりです。5月はミヤマスミレ、ヒメイチゲ、オオバナノエンレイソウ、エゾオオサクラソウ、シコタンキンポウゲなどが見られます。6月は、コンロンソウ、ネムロブシダマなどが開花します。

東梅自然学習林の木々とエゾシカ



トピックス

東梅自然学習林ではエゾシカによる樹皮剥ぎ被害により、この一年で多くの木が枯れたり傷ついたりしています。このような木は倒木の危険があるため、この冬、小鳥の小道沿いの枯れた木や枝の伐採処理を行いました。



▲エゾシカが樹皮を食べた跡。あまり時間が経っていないうちは、剥がされた部分はオレンジ色や黄色でエゾシカの歯形が見える。

エゾシカによる樹皮剥ぎは雪が積もり食べものの不足する時期に主に発生します。剥がした樹皮や樹皮の下の柔らかい部分を食べるのです。エゾシカにとっては食料調達の最終手段になっているようです。被害にあった木は、表面の皮が剥がされ、その下がむき出しになっています。幹をグルッと一周するように皮が剥がされてしまった木は1、2年のうちに枯れてしまいます。なかでも自然学習林では大人一人では抱えきれないほどのハルニレやイタヤカエデの大木が甚大な被害を受けています。根室の厳しい自然環境のなか、数十年～百年以上の年月をかけて大きく育った木が、たった数年で枯れてしまうのは本当に悲しいことです。



▲樹皮剥ぎにより一部が枯れてしまった木

ネイチャーセンターでは木々が弱っていくのをただただ見守っていくのではなく、シカたちに食害されないような対策も行っています。その一つが、シカが好んで食害する木に使い古しの漁網を巻きつけ、皮を剥がされないようにすることです。今年も、ボランティアグループ「スंक」の皆さんと一緒に巻きつけ作業をする予定です。

なお、植生を守るために重機の入り込みを制限している自然学習林では、処理できていないかき木や枯れ枝などがまだあります。危険箇所には看板を設置していますので、頭上に十分注意してお歩きください。



▲食害対策として漁網を巻いた木

着任のご挨拶

根室市農林課 林務・自然保護担当 三國 誠 (みくにまこと)

初めまして、4月1日から根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター勤務となりました、三國誠と申します。

ネイチャーセンターでは、施設管理や自然保護等に関する業務を担当しています。私は、一度来館した方々が再度、足を運んでいただける施設環境づくりに力を入れていきたいと思っています。皆さんが利用しやすい施設になるよう、日々、関係職員に教わりながら頑張っていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。ぜひ、ネイチャーセンターへ足を運んでいただき、根室の自然を満喫してください。

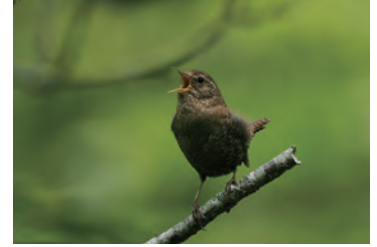


※三國さんが休みの日は、根室市農林課の職員が交代で勤務しています。レンジャー（自然専門員）は昨年と変わらず、掛下とおおくほの2名です。

◆5/19 はじめての早朝バードウォッチング

少し早起きして、早朝の自然学習林を歩きながら野鳥の鳴き声や姿を楽しみましょう！
バードウォッチング初心者向けの内容です。

- ◇日時：5月19日（日）7：00～9：00 ※雨天時は、5月26日（日）に順延
- ◇集合・解散：春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター
- ◇対象：小学生～大人（小学生は保護者同伴）
- ◇定員：20名（先着順）
- ◇服装・持ち物：長そで、長ズボン、ぼうし、歩きやすく汚れてもよい靴（長靴がベスト）。飲み物、筆記用具、虫よけスプレー。お持ちの方は双眼鏡（貸出しあり）
- ◇参加費：100円
- ◇申込：メール、電話または来館時に直接お申込み。参加者全員の氏名・連絡先・小学生以下の方は年齢・学年もお知らせください。
メ切：5月16日（木）17：00 春国岱ネイチャーセンター 電話：0153-25-3047 / Eメール：nemu_nc@marimo.or.jp



◆7/6 海べのいきものと遊ぼう！（海辺の生きもの観察会）

春国岱周辺の干潟（ネイチャーセンターの前浜）で、レンジャーと一緒に海辺の生きものを観察します。根室の豊かな海をのぞいてみよう！

- ◇日時：7月6日（土）9：30～11：30 ※雨風の強い時は中止
- ◇集合／解散：春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター／春国岱駐車場
- ◇対象：5歳～大人（小学生以下は保護者同伴）
- ◇定員：20名（先着順）
- ◇服装・持ち物：長靴または濡れてもよいスニーカー（危険防止のためサンダルは不可）、滑り止めのついた軍手、日焼け止め、虫よけ（スプレーなど）、ぼうし、飲み物、着替え、タオル、雨具、筆記用具。
- ◇参加費：100円
- ◇申込：メール、電話または来館時に直接お申込み。参加者全員の氏名・連絡先・小学生以下の方は年齢・学年もお知らせください。
メ切：7月4日（木）17：00 春国岱ネイチャーセンター 電話：0153-25-3047 / Eメール：nemu_nc@marimo.or.jp



募集中！

ボランティア『スंक』

春国岱ネイチャーセンターでは、施設ボランティアグループ『スंक』で活動して下さる方を随時募集しています。

『スंक』は、ネイチャーセンター周辺の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び行動することを目的として活動しています。月に1回（基本的に第3月曜日）の定例会で、自然学習林の巡回や道標・樹名板などの管理を行ったり、市民向けのイベントを企画したりしています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。

ボランティアに興味のある方、定例会の見学ご希望の方は、ネイチャーセンターまでお問合せください。

- ◆対象：18歳以上
- ◆年会費（ボランティア保険料含む）：1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 禁煙にご協力ください
- 野生動物の生息地です。マダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください。
- ドローンを飛行される際は、他の利用者や野生生物に配慮をお願いいたします。



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

TEL：0153-25-3047 FAX：0153-25-8570

Eメール：nemu_nc@marimo.or.jp

HP https://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

Facebook <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆開館時間 9：00～17：00（4～9月）

◆休館日：（毎週水曜日、祝日の翌日（土・日を除く）、水曜日が祝日の場合翌々日）

5月1・7～10・15・22・29日 6月5・12・19・26日

◆団体でご利用の方へ（事前予約制・2週間前までにご連絡ください）

自然観察の案内や室内でのレクチャーなどのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録